

2004 たまかわ 7

空と緑“新”呼吸する 広報TAMAKAWA <http://www.vill.tamakawa.fukushima.jp>

No.455



福島空港で行われたすがま幼稚園児による七夕飾りから

福島県学校歯科保健優良校表彰 最優秀に須釜中学校

平成16年度の福島県学校歯科保健優良校表彰(よい歯の学校表彰)で、須釜中学校が最優秀賞を受賞しました。

同表彰は、虫歯の予防に積極的に取り組んでいる学校に贈られるもので、児童、生徒に歯と口の健康について理解と関心を深めてもらい、虫歯予防につながることを目的に、毎年開催されています。

最優秀賞を受賞したのは全部で4校で、中学校では須釜中学校ただ1校でした。

また、玉川第一小学校も努力賞を受賞しました。



歯磨きテストの様子



車田教育長(前列中央)に受賞の報告をした須釜中のみなさん

須釜中学校は、平成4年から13年まで10年連続で特別賞を受賞、平成14・15年は優秀賞を受賞しています。

虫歯予防の取り組みは、給食のあとの歯磨きはもちろんのこと、歯科教室や親を交えての相談会の実施など、家庭、学校の両面で積極的に取り組んでいます。

また、歯磨きのあとに磨き残しをチェックする歯磨きテストを実施し、正しく効果的な歯磨きを競っています。

こういった取り組みにより、全体の20数パーセントの生徒は虫歯が1本もありません。

玉川村が構造改革特区に

地域再生計画・構造改革特別区域計画 認定書授与式



小泉首相(前列中央)と認定書を受けた首長ら(後列右は車田村長)

「元気な玉川農村再生特区」に認定書

構造改革特別区域計画、いわゆる構造改革特区計画の認定書授与式が、6月21日に東京都で行われ、玉川村の「元気な玉川農村再生特区」などの計画に対し、小泉純一郎首相から認定書が交付されました。

今回の認定式は5回目、全国で新たに70件の計画が認定、過去4回分と合わせると386件の計画が認定されました。また今回は、初めての地域再生計画の認定も行われ、こちらは全国で214件が認定されています。

地域限定で規制を改める構造改革特区は、経済の活性化のためには、規制改革を行うことによって民間活力を最大限に引き出し、民業を拡大することが重要であることから、地方公共団体や民間事業者等の自発的な立案により、地域の特性に応じた規制の特例を導入する特定の地域(構造改革特区)を設け、地域の自主性の下、構造改革を進めることを目的としています。

また、特定地域における構造改革の成功事例を示すことにより、全国的な規制改革へと波及し、国全体が活性化することなどが期待されています。

玉川村の「元気な玉川農村再生特区」計画は、農地の取得要件を緩和するもので、農地を取得する際には、現在の農地法では取得後の所有面積が50アールに満たない者は農地を取得することができないとされているものを、10アールでも取得できるとするもので、遊休農地が特に多い東部地域(旧須釜村)の農業の活性化と、新規就農者の促進を図るものです。

特区計画の概要

本村の基幹産業である農業においては、近年、農業従事者の高齢化や農業後継者の不足等による農地の荒廃化が懸念されており、特に東部地区において顕著である。その一方で、安心して安全な農作物を小規模な農地で自ら作りたいと希望する村内外からの声も高まりつつあるが、現行の権利取得後の下限面積では、面積が大きすぎてなかなか手が出ないという現状がある。そこで下限面積を10アールに変更することにより、新規就農の増加及び農地の流動化を促進し、農地の荒廃化を防ぎながら「元気な農村」としての再生を目指す。



交付された認定書

児童手当の支給が小学校3年生まで拡大されました

平成16年4月1日から児童手当制度が拡充され、支給対象年齢が、現在の小学校就学前から小学校3学年修了前までに拡大されました。

新たに児童手当を受けようとする児童の保護者の皆様については、認定請求等の手続きが必要となります。なお、改正に伴う新規請求等は、9月30日までに受け付けたものに限り、4月1日(または支給要件に該当した日)にさかのぼって支給されます。

【平成16年度小学校入学児童等】
(平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ児童)

平成16年3月31日まで当該児童に係る児童手当を受給していた保護者の方は、特段の手続きは必要ありません。(児童手当等は引き続き支給されます)

【平成16年度小学校2・3年生の児童等】
(平成7年4月2日～平成9年4月1日生まれ児童)

現在、児童手当等を受給していない保護者の方は認定請求、現在すでに就学前児童について児童手当等を受給されている保護者の方は、額改定認定請求が必要になります。

詳しくは健康福祉課までお問い合わせください。
☎57-4623





花いっぱい たまかわ村

昨年実施されたふるさとCM大賞で、特別賞の演技賞を受賞した玉川村のCM、「花いっぱい玉川村」が、7月18日から1カ月にわたって放送されます。
放送日と時間は次のとおりです。どうぞご覧ください。

ふるさとCM

「花いっぱい玉川村」が放送されます

No	月日	曜日	時間帯	No	月日	曜日	時間帯
1	7月18日	日	06:00 中	16	8月4日	水	06:00 前後
2	7月20日	火	06:00 前後	17	8月4日	水	13:55 中
3	7月20日	火	13:20 前後	18	8月5日	木	06:00 前後
4	7月21日	水	06:00 前後	19	8月5日	木	13:20 中
5	7月22日	木	06:00 前後	20	8月6日	金	06:00 前後
6	7月26日	月	06:00 前後	21	8月6日	金	14:00 前後
7	7月26日	月	13:20 中	22	8月9日	月	05:50 中
8	7月27日	火	13:20 中	23	8月9日	月	13:20 中
9	7月28日	水	13:20 前後	24	8月10日	火	13:20 中
10	7月29日	木	13:20 前後	25	8月11日	水	13:20 中
11	7月30日	金	06:00 前後	26	8月11日	水	14:00 前後
12	7月30日	金	13:20 中	27	8月12日	木	13:20 中
13	8月2日	月	14:00 前後	28	8月13日	金	13:20 中
14	8月3日	火	06:00 前後	29	8月14日	土	13:00 中
15	8月3日	火	13:55 中	30	8月16日	月	13:55 前後

【表の見方】
時間帯欄の時間の後の「中」「前後」は、番組のどの部分で放送されるかを表しています。「中」はその時間から始まる番組の中で放送されることを意味します。
No.1の場合、7月18日の午前6時から始まる番組中に放送されるということです。「前後」はその時間の前後いずれかに放送されることを意味します。
No.2の場合、7月20日の午前6時前後に放送されるということです。

玉川村史の追録が発行されます

村史編さん委員会を開催

玉川村史は、今から24年前の昭和55年に発行されました。その後、昭和56年に資料編、昭和62年には追録Iが発行されました。
村史発行以来これまでの間に玉川村は、祖先の足跡を偲ぶ貴重な資料が出現したり、また、各種事業や道路の建設、空港の開港などに伴う大型事業により、大きな変貌を遂げています。
このようなことから、新たな記録、諸事業の概要を記した、「玉川村史II」(仮称)を発行することになりました。
村では、昨年の5月に編さん室を開設し、現村史等の点検や資料の収集作業を行なっております。
6月27日には、第1回目の村史編さん委員会が開催され、22名の委員へ委嘱状を交付し、発行へ向けた編さん作業が本格的にスタートしました。
編さん作業は、村教育委員会内に事務所を設けて、小高の岩谷浩光先生と泉崎村の荒



第1回編さん委員会のようす

井久二郎先生が専門員として編さんにあたり、平成18年3月の発行を目指しています。
村史編さん委員は次の方々です。
村長・車田次夫(委員長) 教育長・車田政美(副委員長) 議会議長・須田福広 議会文庫委員・須田福広 教育委員・吉田敬一 同職代理者・増子右多子 教育委員・矢部美枝子 同・矢吹貞幸 文化財保護審議会会長・岩谷浩光 同委員・草野今朝夫 同・塩田好一 同・倉鎌徳三 同・吉田清 郷土史研究会会長・石

貴重な資料を寄付

このたびは、蒜生の曲山広一郎さんより、村の歴史を知るうえで大変参考となる曲山文書(もんじょ)が、村に寄付されました。
同じ蒜生の曲山喜代子さんの仲介により実現したもので、村史編さん上、大変貴重な資料となりました。



曲山文書の入った箱を囲んで(左から)曲山さん、車田教育長、岩谷先生

愛の血液助け合い運動が実施されています

毎年、夏季と冬季は血液が大変不足する時期です。このため7月の1カ月間、愛の血液助け合い運動を全国的に展開し、広く献血をよびかけています。
運動では、特に成分献血と400ml献血の協力をお願いしています。
成分献血は、成分採血装置を使用して血小板や血しょうを採取して、赤血球は献血された方の体内にお返しするので、献血者の身体に負担の少ない献血方法です。また、献血された方への時間的な負担はおかけしますが、輸血後の副作用の発作をより少なくすることができ、輸血を受ける患者さんにとって、より安全な血液を提供することができます。
400ml献血は、患者さんが輸血を受ける場合、200ml献血に比べて半分の人数の献血者からいただく血液で済み、輸血による感染症や輸血副作用の発生をより少なくすることができます。
玉川村にも、次により献血車が来村しますので、皆様のご協力をお願いします。
◆日時 7月22日(木) 午後1時～5時 ◆場所 保健センター



技能走行テストのようす



3位に入賞した玉一小のみなさん

交通安全子供自転車大会

今年で26回目となる石川地区交通安全子供自転車大会が、6月16日にたまかわ文化体育館、村民グラウンドを会場に行われました。
大会は、石川地区交通安全協会、石川警察署の主催で、石川郡内の4小学校から7チームが出場。玉川村からは玉川第一小学校から2チームが出場しました。
競技は1チーム5人編成で、学科テスト、交通ルールどおりに走行する安全走行テスト、8の字走行やジグザグ走行などの技能走行テストで得点を競い、上位2チームは県南大会に出場することができます。
玉川第一小学校は、県南大会出場は逃したものの、Aチームが堂々の3位入賞、個人の部でも溝井篤志君が4位入賞を果たしました。



須田議長から表彰状を受ける宗形議員

自治功労で表彰

村議会の宗形徳次議員（南須釜）が、福島県町村議会議長会より自治功労で表彰され、6月定例議会の開会にあたり、須田村議会議長より表彰状が伝達されました。宗形議員は現在6期目で、長年にわたり町村自治の振興発展に尽力されています。



須藤分団長(左)と選手のみなさん

川辺分団が訓練開始!

消防操法競技大会のポンプ車の部で、県大会に出場する川辺分団の訓練開始式が、6月22日に行われました。出場選手は次のとおりです。
指揮者・矢部憲宗 1番員・三瓶信之 2番員・白旗功 3番員・鈴木信幸 4番員・野崎智之 補充員・野崎智彦



県南大会優勝の際の記念写真です

玉川村役場チーム県大会出場

玉川村役場の野球部が、自治体職員スポーツ大会の県南大会でブロック優勝し、原町市などを会場に行なわれた県大会に出場しました。県大会では、1回戦をコールドゲームで勝利し勝ち進みましたが、2回戦では優勝チームの福島市と対戦、惜しくも負けてしまいました。



各職場を回り、職員から説明を受ける玉一小児童

玉一小児童役場探険

6月22日、玉川第一小学校の児童が、授業の一環である「村探険」で役場を訪れました。各職場を回り、仕事の内容などについて説明を受けたり、質問をしたりと真剣に学習していました。一番の印象は、村長室のイスに座れたことのようにでした。



ホールアウトの瞬間です
僅差の戦いとなりました

村長杯グラウンドゴルフ大会

第2回玉川村長杯グラウンドゴルフ大会が、6月30日に村民グラウンドで行われ、31人の選手がスコアを競いました。結果は次のとおり。
優勝 矢部 重蔵 準優勝 溝井 良伸
3位 小林 近芳



地域の方々に元気いっぱいの授業風景を公開した須釜小児童

授業風景を地域に公開

須釜小学校の地域公開授業が、7月3日に行なわれ、普段の授業風景や、この日のために研究や練習してきた成果などを地域の方々に公開しました。どの教室にも保護者などが大勢詰めかけ、子ども達の一生懸命な様子を見学していました。



泉保育所の七夕会、ごこは星の目です



須釜児童館の七夕会、人形劇を見ました



いずみ幼稚園の七夕会、みんなで乾杯しました

みんなの願い 天までとどけ

七夕を前に、子ども達が、願いを込めた短冊や折り紙などで、竹に飾りつけを行いました。短冊には、将来の夢ややりたい職業など、それぞれの思いが書かれていました。そして迎えた7月7日、七夕会が開かれました。みんなの願い、きつと天まで届いたことでしょうか。



七夕飾りをバックに放課後児童クラブのみなさん



玉一小のたなばた集会、将来の夢を発表しました

中体連県南体育大会

中体連県南総合体育大会が、6月9日から泉中学校などを会場に行われました。玉川村勢の活躍は、卓球で須釜中の塩澤君、柔道では泉中の佐藤さんが優勝するなど、卓球と柔道を中心に好成績を収めました。その他の結果は次のとおりです。

- 【男子】
- 卓球・個人 1位 塩澤 達也(須釜中)
- 柔道・個人(90kg超級) 3位 草野 祐樹(泉中)
- 【女子】
- 卓球・団体 3位 須釜中
- 卓球・個人 2位 塩澤 友香(須釜中)
- 卓球・ダブルス 2位 國井佐也可(泉中)
- 柔道・団体 3位 泉中
- 柔道・個人(44kg級) 1位 佐藤 秀美(泉中)
- 同 (57kg級) 五十嵐麻衣(泉中)
- 剣道・団体 3位 泉中

住民課からのお知らせ

毎年、お盆の時期はし尿汲み取りの申し込みが殺到し、大変込み合います。8月の汲み取りは、通常どおり(土日を除く)行いますが、お盆前に汲み取りを希望される方は、早めにお申し込みください。
◆申し込み・問い合わせ
住民課 ☎57-4624



泉中を会場に行われた剣道大会



～七夕会より～

お知らせ

内閣総理大臣名の書状を贈呈します

先の大戦で戦地等に派遣され、戦時衛生勤務に服された旧日本赤十字社救護看護婦及び旧陸海軍従軍看護婦の方々（慰労給付金受給者を除く）に対して、そのご労苦に報いるため内閣総理大臣名の書状を贈呈しております。

◆請求用紙 役場健康福祉課に用意してあります。

◆請求期限 平成17年3月31日まで

◆問い合わせ
総務省大臣官房管理室 業務担当
☎03-5253-5182

終戦当時の海外引揚者の方々へ

一通貨・証券などをお返ししています

税関では、海外から引き揚げの際お預かりした次の通貨・証券などをお返ししています。

①終戦後、外地から引き揚げたごられた方が、上陸地の税関、海運局に預けられた通貨・証券など

②外地の集結地において、総領事館などに預けられた証券などのうち、日本に送還されたもの

返還の申し出は、預けられた方ご本人はもとより、ご家族の方でも結構です。お心あたりの方はお問い合わせください。

◆問い合わせ
小名浜税関支署 ☎0246-92-5151
小名浜税関支署福島空港出張所 ☎57-1133

就職面接会のお知らせ

福島労働局では、夏休み期間中の学生、及びUターン等を希望する方の就職活動を支援するため、次により「2004夏ふくしまUターン・学生等就職フェア」を開催します。

◆日時 8月17日(火) 午後0時30分から4時

◆場所 郡山市「ビッグアイ7階」

◆対象者
Uターン希望者、来春卒業予定の学生等(高校生は除く)及び県内に採用予定のある事業所

◆問い合わせ
福島労働局職業安定課 ☎024-528-0366

水消火器で訓練を!

須賀川地方広域消防組合では、住民のみなさんに、いざという時のために訓練をしていただけるよう、「訓練用水消火器」を整備しています。

この度、(財)日本防火協会の助成事業として交付された助成金により、この訓練用水消火器を購入し、須賀川地方広域幼年少年女性防火委員会に配布しました。

組合全体の本数も充実しましたので、地区・学校・事業所のみなさんで消火訓練を行なってみたいはいかがでしょうか。

◆申し込み・問い合わせ
須賀川消防署 ☎0248-76-3196

台風による災害に備えましょう

この時期は、長雨及び局地的な強い雨により低地の浸水、山崩れ、ガケ崩れや地滑りなどの災害が心配されます。

県内でも平成10年8月末に、豪雨被害により11名の尊い人命が奪われました。被害に遭わないため、または被害を最小限に抑えるために以下のことに注意してください。自分の身は自分で守るという意識が大切です。

- 気象情報、河川情報に注意しましょう
- 自分の住んでいる地区の避難場所を確認しましょう
- 携帯ラジオ、懐中電灯など防災用品を準備しましょう
- 防災訓練や講習会には積極的に参加しましょう

◆役場総務課 ☎57-4621
◆石川警察署 ☎26-2191

保健センター健康教室

今年度から実施している保健センター健康教室。先月からは「水中ウォーク」を行なっています。水中ウォークは足腰に負担をかけずに、有酸素運動をしながら筋力をつけることができます。

次回は7月30日(金)に開催されます。

◆問い合わせ 保健センター ☎37-1024



～須賀小地域公開授業より～

募集

消防職員募集

須賀川地方広域消防組合では、次により消防職員(高校卒程度)を募集します。

◆募集職種・人数 消防職・3名程度

◆受験資格 昭和54年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません)

◆身体基準
①身長: おおむね155cm以上
②胸囲: 身長のおおむね2分の1以上
③視力: 両眼とも裸眼視力0.3以上、又は裸眼視力0.1以上で矯正視力1.0以上
④聴力: 左右とも正常であること

◆申込用紙
消防本部総務課、消防署、派出所及び役場総務課で交付します。また、須賀川地方広域消防組合のホームページからもダウンロードできます。
<http://www.sukagawa119.jp>

◆受付期間
7月20日から8月19日まで(土・日除く)
時間は午前8時30分から午後5時15分まで

◆問い合わせ
須賀川地方広域消防本部総務課 ☎0248-76-3112

海上保安大学校・海上保安学校学生募集

海上保安庁では、次により学生を募集します。

◆募集人数
【海上保安大学校】約45名
【海上保安学校】
●船舶運航システム課程 ●航空課程
●情報システム課程 ●海洋科学課程 計約145名

◆受付期間
【海上保安大学校】8月26日～9月7日
【海上保安学校】7月20日～8月3日

◆受験資格
高校、又は高等専門学校を卒業した者、及び卒業見込みの者で、海上保安大学校は昭和59年4月2日以降、海上保安学校は昭和56年4月2日以降に生まれた者

◆問い合わせ
福島海上保安部管理課 ☎0246-53-7112

公立岩瀬病院職員募集

公立岩瀬病院では、次により職員採用候補者試験を行います。

◆募集職種・人数
理学療法士・1名程度
管理栄養士・1名程度

◆受験資格
①理学療法士
昭和50年4月2日から昭和59年4月1日までに生まれた者で、理学療法士の資格保持者、または平成16年度末までに取得見込みの者(学歴は問いません)
②管理栄養士
昭和50年4月2日から昭和58年4月1日までに生まれた者で、管理栄養士の資格保持者、または平成16年度末までに取得見込みの者(学歴は問いません)

◆申込用紙 公立岩瀬病院庶務課で交付します。

◆受付期間
7月20日から8月19日まで(土・日除く)
時間は午前8時30分から午後5時15分まで

◆第1次試験 9月19日(日)

◆問い合わせ
公立岩瀬病院庶務課 ☎0248-75-3111

自衛官(学生)募集案内

募集種目	資格	受付期間
航空学生	高卒(見込) 21歳未満の者	8月2日～9月8日
看護学生	高卒(見込) 24歳未満の者	9月10日～10月1日
一般曹候補学生	18歳以上 24歳未満のもの	8月2日～9月8日
曹候補士	18歳以上 27歳未満のもの	通年
2等陸・海・空士		
	女子	8月2日～9月8日

詳しくは福島地方連絡部白河募集事務所まで
☎0248-24-0372



7月8月の健康ごよみ

- 7月
 - 21日(水) 3~4ヶ月児健診 公 午後1時30分~
 - 転倒骨折予防運動 須釜公民館 午前9時30分~
 - 22日(木) すくすくクラブ 保 午前10時~
 - 献血 保 午後1時~5時
 - 23日(金) 3歳児検診 保 午後1時~
 - 26日(月) 子育て何でも相談日 保 午前9時~
 - 27日(火) 日本脳炎予防接種 保 午後0時45分~
 - 28日(水) 転倒骨折予防運動 須釜公民館 午前9時30分~
 - 30日(金) 保健センター健康教室 保 午前9時30分~
- 8月
 - 3日(火) ツベルクリン反応検査 .. 就改センター 午後0時45分~
 - 4日(水) 母親教室 保 午後1時30分~
 - 転倒骨折予防運動 須釜公民館 午前9時30分~
 - 5日(木) すくすくクラブ 保 午前10時~
 - BCG予防接種 就改センター 午後0時45分~
 - 11日(水) 転倒骨折予防運動 須釜公民館 午前9時30分~
 - 18日(水) 3~4ヶ月児健診 公 午後1時30分~
 - 転倒骨折予防運動 須釜公民館 午前9時30分~
 - 20日(金) 機能訓練 保 午前10時~
 - 22日(日) 子宮がん検診 午前8時~ 保 午後1時~ 須釜公民館

保：保健センター 公：公立岩瀬病院

村のようす

(16年7月1日現在)



- 1,947戸(+7)
- 7,644人(+12)
- 3,785人(±0)
- 3,859人(+12)

お誕生おめでとうございます

(6月届出分)

地区名	出生児氏名	保護者名
川 辺	和 知 里 恩 貴 徳	
岩法寺	鈴 木 健 太 豊	
竜 崎	小 林 瑠 花 裕 也	
〃	小 針 楓 竜 哉 次	
〃	湯 澤 一 颯 真 浩	
南須釜	大 野 航 聖 浩	
吉	佐 藤 優 妃 熊 寿 徳	
〃	矢 吹 拓 哉 将 徳	

おくやみ申し上げます

(6月届出分)

地区名	死 亡 者	世帯主名
川 辺	矢 部 宗 郎 重 之 さんから	重 雅 彦 さんから
蒜 生	関 根 忠 守 幸 次 重 康 男 男 孝 三	康 金 吉 要 明
中	小 針 林 金 典 吉 男 男 孝 三	吉 要 明
竜 崎	小 鈴 木 吉 典 一	
〃	湯 澤 子	
南須釜	増 子	

広報への掲載を希望されない場合は、窓口への届け出の際にお申し出ください。

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。(村社会福祉協議会)

川 辺の	矢 部 重 之 さんから
小 高の	関 根 雅 彦 さんから
中 の	小 針 康 信 さんから
竜 崎の	小 林 金 喜 さんから
〃 の	湯 沢 正 さんから
南須釜の	増 子 明 さんから

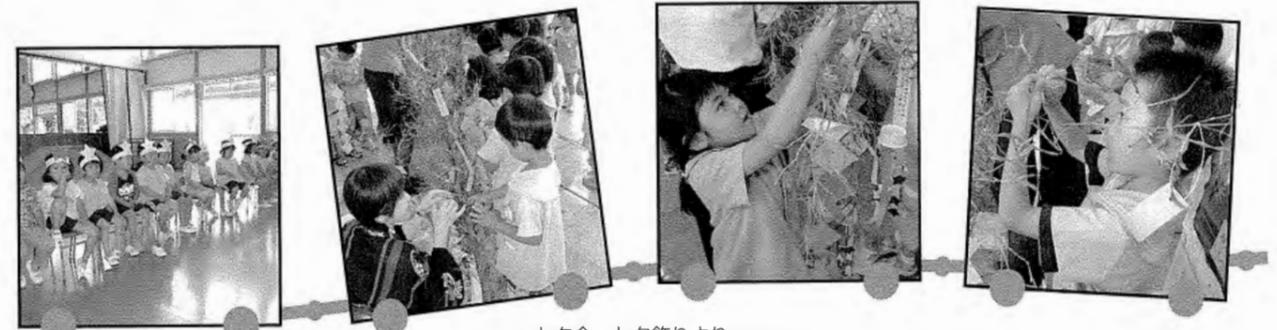
今月の納税

国民健康保険税 第1期分

【納期限は7月26日(月)です。忘れずに納めましょう】

内科外来の診察室が新しくなりました

公立岩瀬病院の内科外来の診察室は、そのつくりが古いことから、診察時に患者と医師の会話が外に漏れやすい構造になっていました。これを改善するため、改修工事を進めてきましたが、このほど工事が終了しました。改修後の診察室は、軽くスライドするドアでしっかりと閉じられ、患者のプライバシーが守られます。また、明るいつくりとなりましたので、受診の際には、担当医師に安心して細かいことまでお気軽にご相談ください。



~七夕会・七夕飾りより~

文 芸

花愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

初節句祝う大人の手をわたり何か夢みるような嬰子
 在る命奇蹟と思ひ驕るまじいつお迎えが来るやも知れず
 木漏れ日に光陰のあり霊宿す碑の立ちならぶ円通寺の門
 声かけもうつかり出来ぬ児童らに触れ合ひ心育つてしようか
 老いて尚良き師と友とのめぐり合ひ楽しく進む歌道一すじ
 おやゆびと小指の間に那須山収めつつ観ていた里のわが幼日は
 しゆるしゆると滾り来るもの背にうけて墨痕すわと白紙に打つ

吉田ハツ子
小針 登里
小針 愛子
小針 眞弓
眞弓 はん
吉田 英祐
川崎 雄子

さるなし俳句会六月句会詠草

万緑の山へ逃げだす非常口
 踏切りの鳴る音重き夏の霧
 名水を汲むや百合咲く利尻島
 おやすみの言葉やさしき速蛙
 万緑や鳥語の森を膨らまし
 訪ね来し父の袂の初堂
 忙しき日々移ろいて竹落葉
 詠訣の独り酒酌む青田かな

仁 美 公 美 枝 華 真 知 春 恵 由 記 仁

お知らせ

国民年金Q & A

- 問1 将来、年金が貰えなくなるのではないかと心配です。
 答1 ご安心ください。公的年金制度は、国が責任を持って長期的に健全かつ安定的に運営し、少なくとも5年に1度財政再計算を行なっています。年金を貰う側とその財源を負担する側の両方のバランスを考え、法律改正などにより常に収支の見直しをしており、年金が貰えなくなるようなことはありません。
- 問2 国民年金は支払った保険料よりも、貰える年金額の方が少ないのではありませんか。
 答2 そんなことはありません。公的年金制度は現役世代で保険料を負担し、年金世代を支えるという「世代間扶養」の仕組みのため、損得勘定で考えるのは適切ではありませんが、あえて計算したとしても、将来保険料が高くなる世代でさえ、平均的に長生きすれば、収めた保険料以上の年金が受け取れることとなります。
- なお、今後、若い方を含めて年金個人情報をお知らせできる予定です。

社会保険事務所出張相談日程表

場所	石川町勤労青少年ホーム会議室	須賀川市体育館会議室	開催時間
8月	19日(木)	12日(木) 26日(木)	10:00~ 15:00
9月	16日(木)	9日(木) 30日(木)	

年金の受給手続など、お気軽にご相談ください。
※年金手帳、基礎年金番号通知書をご持参ください。

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

これからの時期、夏の暑さや行楽などによる過労運転、夏休み特有の開放感による危険・無謀運転等により交通事故が多発することなどから、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動が実施されます。

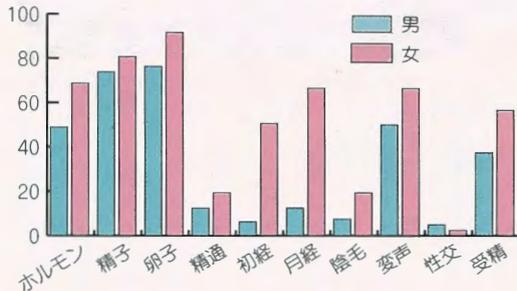
- ◆実施期間 7月16日(金)から25日(日)までの10日間
- ◆運動のスローガン 「教訓は あの日のドッキリ あのヒヤリ」



こんにちは保健師です

【シリーズ思春期保健(小学生編)①】

今月からは、昨年度村内の小中学生を対象に実施した思春期保健アンケート結果を通して、子ども達の現状についてお伝えしていきます。第1回は、性に関することばの認知度についてです。次のことばを知っていますかという質問に、知っていると答えた児童の割合は下記のとおりでした。



ほとんどのことばについて、男子よりも女子の方が「知っている」と答えた割合が高いという結果になりました。「ホルモン、精子、卵子、変声」などのことばについては50%以上の者が知っていると考えていますが、「受精」については42.2%で半数以下、「精通」や「陰毛」についても13~16%と低い結果でした。また、女子では「ホルモン、精子、卵子」ということばより、「初経」や「月経」ということばを知っていると答えた者の割合が低いという結果も出ています。学校ごとに多少のばらつきもあることから、今後は各学校における性教育の実施状況を把握し、内容の検討を行うと共に、親が子に教える性教育についても働きかけを行い、子どもたちが性に関して正しく学ぶことができる環境を整えていくことが必要と考えます。



生き生きサークル

玉川太鼓道場

- 代表 室井善範
- 連絡先 ☎0248-79-4452
☎090-2988-3398
- 練習日時 毎週日曜日 午前10時~
- 練習場所 竜崎

玉川太鼓道場は、竜崎に道場を構え活動しています。代表の室井さんは、東京の浅草出身。昭和55年に龍神太鼓を結成、その後ソロとして独立し、海外のステージにも数多く出演しています。また、太鼓の製作も行い、現在使用している太鼓、スタンド、バチは全て自分の手作りによるものだそうです。

竜崎に道場を開いたのは昨年の5月。現在は5名の方が練習に励んでいます。「残念ながら、まだ玉川村の生徒はいないんです」と、室井さん。子ども達に「太鼓を通して見識を広めてもらえればうれしい」とも。語る口調は熱く、太鼓に対する強い情熱が感じられます。若者男女を問わず興味を持たれた方は、どうぞご連絡を。

東京玉川会コーナー



心に残る我がふるさと

『若き日の夏の思い出』

東京都町田市
大和田ノブ子さん
(川辺出身)



箱根への旅行の際

今年にはカラ梅雨と台風のニュースが例年より多く、9月までどうなるか心配です。

今頃の故郷の田園は、緑一色に波打って豊かな風景が目につかびます。今年も豊作をお祈り申し上げます。また、玉川会の皆様、ご健勝の事と存じます。娘の頃の夏の思い出は、何といてもお盆につきます。兄達も土産を持って帰省し、夜、家族で提灯を持って墓参り。家々の方々に会ってとてもにぎやかでした。そして待ちに待った盆踊り。この時だけはお化粧をして、笛や太鼓に胸をはずませ、夕食もそこそこに友達を誘い合

い出かけました。老若男女が輪になり、一晩中同じ踊りを続けました。やがて散らし太鼓が鳴り、帰宅しても余韻はいつまでも残り、明晩も雨が降りません。

その頃の母の歳をとうに過ぎた今も、面影はあの時のまま残っております。綱谷一才の詩に、「十億の人に十億の母あるも、我が母にまさる母あらめやも」と。私にも故郷と母は心に温かく残っております。貧しくも母の分身であった事を幸せに思います。

今は人生で一番時間にゆとりがあり、家族にも恵まれて幸せを感じています。主人と二人、健康第一で仕事も程々、同じ趣味を持ち、広く交流を楽しんでいます。

今年には東京玉川会の総会には出席できず残念に思いますが、来年をお待ちしております。皆様のご健康をお祈り申し上げます。